

最優秀賞

城戸さんは、普段の業務の中で「工数の平準化」を現場の課題として捉え、それを念頭に置きプロフェッショナルスタディに取り組まれました。

普段の業務は、ウォーターフォール型の開発である中で、大規模アジャイルのフレームワークの一つである LeSS のプロダクトバックログの管理手法にヒントを得て、製品ごとのバックログを統合し、組織としてのバックログを作成することによる全体最適を狙う手法を独自に考案されました。

このような管理手法は、複雑になり過ぎたり、単純化し過ぎたりと現場での適用は難しいことも多いですが、普段の業務が派生開発が多いことや現在の開発体制を踏まえた抽象化を行っており、現実的にも妥当性が期待できる手法であると思います。

また、ジョブショップスケジューリングによる制約充足問題として定式し、ユーザフレンドリーな可視化を提供するなど、トップエスイーの成果を存分に発揮した内容となっているかと思います。

以上を評価して最優秀賞を与えることとします。

(トップエスイー代表、本位田真一)